

平井まち子 市会報告



平成30年 2月定例会

●2018年2月20日～3月29日

平成30年2月定例会が開催され、平成30年度当初予算及び関連議案を中心に審議を行いました。久元喜造市長の2期目就任後初の提案となる今予算案は、「若者に選ばれるまち神戸」を目指し、子育て施策の充実に特に力点を置いたものとなりました。神戸の未来を切り開くための雇用の早出や福祉・医療・防災などの充実やまちの魅力づくりの取り組みを評価し、予算案を可決しました。※予算の概要は裏面に掲載

議事録、録画は神戸市会ホームページ ▶ <http://www.city.kobe.lg.jp/sikai/>

自由民主党神戸市会議員団は、平成30年度神戸市各会計予算案並びに関連議案、合計59議案について要望26件を付して承認しました。

【要望事項】

1. 留学生をスムーズに受け入れ、また神戸の間接的なシティプロモーションのために、住まいに関するバックアップを充実すること。
2. クルーズ船等による訪日外国人旅行者の災害時の対応指針を示すこと。
3. 病院船にかわるものとして、「DMAT」チームとの連携による救命率向上に資する「コンテナ医療モジュール」の推進を、強く国に働きかけること。
4. 西区を中心に隣接地域も含めた経済圏、生活圏域を創るため、西部地域の広域連携拠点化を一刻も早く目指すこと。
5. 西区役所は有事の際のバックアップ機能を備えたものにする。
6. 同居・近居の推進や中小企業の支援を行うため、市有地の隣接地所有者への利用・処分を促進すること。
7. 「市民スポーツの振興」の担い手となる局をしっかり定め、着実に進めること。
8. 健康ライフプラザのスポーツジム等の見直しでは、現在の利用者への丁寧な対応に努め、引き続き高齢者や障害者、持病をかかえる方までが健康づくりに取り組める施策を展開すること。
9. 介護保険総合事業においては、柔道整復師や理学療法士など様々な職種を活用し、多職種連携を強化すること。
10. 今後の学齢前児童の遊びの地域拠点整備にあたっては、効果をよく考慮のうえ、場所や民間との連携手法を検討すること。
11. 但馬牛の生産拡大とブランド拠点として、六甲山牧場に神戸ビーフ館誘致を推進すること。また同牧場や神戸ワイナリーへの道の駅の設置や海の駅についても検討すること。
12. 子育てをしながら働く女性を支援する観点から、移動手段である自転車の駅前駐輪場の優先確保と無料化をできるところから取り組むこと。
13. 下水処理における栄養塩管理については、豊かな海の推進に向け、海域の水産資源の育成という観点から、国・県に対して必要な働きかけを行うこと。
14. 北区皆森交差点や垂水区小東山6丁目交差点など、市内幹線道路の渋滞問題を本市の責任で早期解決すること。
15. 利用者が増加しているJR舞子駅の駅前広場、バスターミナルについて、障害者・高齢者の方が利用に困難を感じておられる現状を改善すべく、「まちなか拠点整備」事業等を着実に進め、総合的に駅前広場のあり方を検討すること。
16. 街路樹の剪定は、交通安全対策および美観の観点からも早期整備を行うこと。
17. 三宮の再整備については柔軟性をもって進めること。また、公共施設の移転に伴う跡地の活用に関しては、議会・市民の意見をよく聞き議論を深めること。
18. ランドバンクの設立を支援し、空家空地対策に取り組むとともに、六甲山中腹や市内各地に多々ある市内公有地を有効活用すること。
19. 神戸電鉄粟生線の上下分離調査については、北西区の全体的な運賃低減につながるものとする。
20. 神戸空港については、3空港一体運営を機に発着枠の拡大、運航時間の規制緩和、及び国際線定期便の運航が可能となるよう関係先に強く要望すること。
21. ウォーターフロント整備については、阪神高速道路株式会社と各局、が連携し、経済効果を図るためパーキングエリア及び路外パーキングエリアの整備に取り組むこと。
22. コンテナターミナルのAIやIoT技術の導入に向け環境整備を進めること。
23. 神戸市子ども交流支援基金を積極的に活用し、姉妹都市との交流を中心に、市内の高校生に留学の機会を拡充すること。
24. 児童・生徒の「生きる力を養う教育」を推進すること。
25. スポーツ振興のため、他のスポーツにも使用できる女子サッカー用のスタジアムを整備すること。
26. 高校生の通学費補助については、全市への取り組みとすること。

その他主な議案

神戸市認知症の人にやさしいまちづくり条例

認知症の人の意思が尊重され、認知症の人とその家族のよりよい生活を実現するために必要な支援を受けられるよう、まち全体で支えることが必要です。認知症の人にやさしいまちの実現を図るために必要な事項を定めるものです。

【定められる取り組み】

- 認知症の予防及び早期介入の推進
- 認知症高齢者が事故を起こした場合の救済制度の整備
- 認知症の疑いがある人の運転免許自主返納の推進
- 治療及び介護の提供に関する規定の整備
- 推進委員会の設置

施行：平成30年4月1日



神戸市住宅宿泊事業の実施の制限等に関する条例

いわゆる「民泊条例」が、国の法令の施行に合わせて上程されました。一定のルールの下で民泊の実施を可能とするものです。しかし規制の実効性について議論が充分では無いため「市民の生活環境を守り、事業の適正な運営を確保するため、保健福祉局をはじめ関係する部局・区において、住宅宿泊事業者の届出、周知行為等に関する情報の共有に努めるほか、本条例が公平かつ適正に運用されるよう実効性のある措置を講ずること」との付帯決議を付して可決しました。

【規制内容】

- 住居専用地域での営業禁止
- 「有馬」周辺地域では温泉観光地繁忙期は営業禁止
- 学校等・福祉施設の周辺100m以内は営業禁止

施行：平成30年6月15日 事業者の届け出受付は3月15日から

人事案件

＜副市長＞ 昨年11月に任期満了で退任した鳥居聡氏の後任に寺崎秀俊氏を任命し、任期満了となる岡口憲義氏を再任することに同意しました。

＜教育長＞ 任期満了となる雪村新之助教育長の後任に長田淳氏を任命することに同意しました。



輝く子供たちの
未来をつくる

◆待機児童解消の強化

- ・保育所等の整備で保育定員1600人増
- ・病児保育室を2箇所新設
- ・幼稚園での一時預かりの拡大・認定保育園への移行サポート



◆保育人材の確保

- ・採用3~7年目の保育士に一時金(5年間で最大100万円)
- ・新卒保育士、復職する潜在保育士に一時金・保育士に保育料助成

- ◆就学前児童の遊びの拠点整備(北区岡場)
- ◆小中学校の遠距離通学費用の助成の拡充(半額から全額)
- ◆高校生への通学費助成(北神急行通学定期)
- ◆しあわせの村の駐車場無料化(18歳未満の子供を含むグループ)
- ◆子育て世帯への入浴料助成
- ◆英語担当教員の新規配置やALTの配置拡充

一般公衆浴場を
家族で利用すると
週1回、高校生以下の
子供無料、大人1人半額



健康・安全を守る

- ◆認知症対策推進条例の制定に伴う施策の展開
- ◆障害者の相談拠点「障害者支援センター」を設置
- ◆公共交通機関のバリアフリー化
- ◆公園照明、トイレの改善



街と地域を創る

- ◆博物館のリニューアル ◆市街地西部芸術祭の開催準備(31年度開催)
- ◆新長田駅南側市合同庁舎の整備 ◆地下鉄海岸線小中学生無料の継続
- ◆都市空間向上計画の検討



神戸経済を伸ばす

- ◆医療産業都市の新たな体制構築
- ◆500スタートアップスとの連携など起業・創業支援
- ◆六甲山・摩耶山の活性化 ◆クルーズ人口の拡大促進(直行バス実験、山上通信環境の整備)



陸・海・空の拠点を創る

- ◆神戸港の港勢拡大 ◆神戸空港のコンセッション方式による運営開始
- ◆広域幹線道路の整備促進(大阪湾岸道路西伸部・神戸西バイパス)
- ◆都心・三宮の再整備(バスターミナル、JR三宮駅前広場新中央区庁舎)
- ◆ウォーターフロントの魅力向上(新港突堤西地区、中突堤の再整備、税関前交差点の改善検討)

市政改革を進める

- ◆死亡関連手続き案内係のモデル設置
- ◆スマホによる市民からの情報提供ツールの構築



▶ こども家庭局審査

平成30年度予算案は本会議での質疑後に予算特別委員会に付託され、3分科会に分かれて局別に審査が行われました。平井はこども家庭局審査で質疑を行いました。

学齢前児童の遊びの
地域拠点整備

問 今予算案では北区の岡場駅前に学齢前児童の遊び場を整備する予算が計上されているが、唐突感がある。検討の経緯、今後の方針は。

答 こべっこランドのような遊び場のニーズが高いためこべっこランドから遠い地域での整備を決めた。30年度は北部に今後東部、西部に一箇所ずつ整備する方針だ。

副 主要駅付近に既に民間が運営する有料の遊び場がある地域でさらに無料の施設の整備は過剰で、民業圧迫にもなる。東部、西部と無理に地域割で整備することが妥当か。

答 民間の施設とは内容や目的が異なる。(後に局長が補足して)民業を圧迫してまで画一的な地域割りで整備するものではない。

配 子供が減っている地域に整備し、子育て世代を呼び込み地域の活性化に繋げるといった目的を持って整備地域を絞ってほしい。例えば子育て世代に向けたテナント誘致の方針を進めてきた新長田地域などに目を向けていただきたいがどうか。

答 基本的にはこべっこランドから遠い地域で整備したいが、先行する北部の状況を見て今後検討したい。

副 同様の施設を企画する民間の事業者に対して補助をするスキームの方が、財政面でも遊び場の拡大という点でも効果的と考えるが、どうか。

答 設置条件を定めた上で民間事業者に補助するスキームも考えられる。今後の検討課題としたい。

病児保育の受け皿拡大

問 本市では病院や診療所に併設した病児保育室で病児保育事業を行なっているが、実施箇所が限られる。次年度より医療的ケアを必要とする児童の受け入れのために看護師を配置する保育所に経費を補助する予定であり、看護師が配置された園で合わせて病児保育を実施することは難しくなくない状況だ。医療機関併設型にとどまらず、保育所での病児保育の実施を推進すべきだがどうか。

体調不良児対応の制度を利用して医療的ケアを必要とする児童を受け入れるための看護師配置を進めるものなので、保育中に子供が体調が悪くなった場合にも保護者が迎えに来るまで対応可能になる。さらに不特定多数の児童を受け入れる病児保育後児保育を実施するのは、保育所では難しく、専用スペースの設置も課題。小児科等の意見も聞きながら研究していきたい。

再 保育中に体調が悪くなった時にそのまま預かってもらえるだけでもありがたいが、利用者にわかるように周知されるのか。

答 実施する保育園等については保護者に周知していきたい。

仕事と子育ての両立支援
問 仕事と子育ての両立支援について、現在その中心は保育定員の拡大となっている。保育所の必要性は大きいものの働き方は多様で、選択肢がある方がよい。本市の施策としては「一時保育やファミリーサポートセンター」などがある。また、ベビシッター等民間のサービスもあるが、割高感が強いことが利用をためらわせている。幅広く支援の拡充が必要ではないか。

答 一時保育は4時間以内の利用は半額とするなど利用しやすさに配慮してきた。またファミリーサポートセンターの協会員増など支援の拡充に努めている。順次改善や充実に努めたい。

再 一時保育でせめて第二子からの割引は検討できないか。また、一時保育やファミサポがニーズに合う家庭でも、サービスの存在自体が知られていないのでより周知が必要だが。

答 第二子の割引も、今すぐするとは言えないが他都市の動向や施策全体のバランスを考えて研究していきたい。働き方に応じて対応できるように広報も再点検していきたい。

課題のある家庭への支援
問 昨年10月の本会議で貧困やひとり親、DV被害者など様々な課題のある家庭に支援ができていないのか、また貧困の連鎖を防止するための

「親も含めた学習支援を行う場所」の充実について質問した。市長から「様々な支援を展開しているが、それらの支援を適切に届いているのか、ニーズに沿った支援になっていないのか、実態を不断に検証していく」という旨の答弁があったものの30年度予算で目新しい予算計上はない。この間、実態の検証が行われたのか、どのようなことを議論してきたのか。

答 高卒資格の取得や看護師免許取得の学びなどを支援してきたが、施策や相談窓口の認知度が課題である。「ひとり親ハンドブック」を該当家庭に直接送付するようにしたが、今後は児童扶養手当の手続き時に手渡すなど必要な方に情報が届くよう引き続き努力する。

児童虐待防止条例の検討

問 児童虐待の相談・通告件数は年々増加しており、児童虐待の防止策が課題だ。神戸市でも児童虐待防止条例の制定を検討されてはどうか。虐待の発見や児童の保護について児童虐待防止法を超えた対応を条例に盛り込むのは難しいとしても、理念として「虐待は絶対ダメ」という意思表示をする意味はあるのではないか。

答 児童虐待の早期発見・未然防止・再発防止については児童虐待防止法と国が定めるマニュアルに則り対応することが重要だ。五つの政令指定都市が条例化しているが、本市でも条例制定の意義・効果をふまえて引き続き検討を進めていきたい。



平井まち子 自由民主党 神戸市議員



□1976年神戸市長田区生まれ
□池田小、西代中、長田高校、神戸大学(文学部史学科)卒業 □神戸電子専門学校を修了、市内の広告代理店に勤務、タウン誌の制作などに携る。□2005年10月の神戸市会補欠選挙にて10,436票をいただき初当選。□2011年、2015年再選。現在3期。
□2016年、双子の母となりました。

- 役職**
- 自由民主党神戸市議員団 幹事長
 - 神戸市監査委員
 - 真珠神戸市議員懇談会 事務局長
 - INAC神戸を応援する神戸市議員の会 会長
- 地域活動**
- 長田神社氏子会 参与
 - 神戸金型工業会 相談役
 - 長田館商組合 顧問
 - 神戸あじさいライオンズクラブ 会員

◆自由民主党神戸市議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 市役所1号館28階
電話 078-322-5846 Fax.078-322-6164

◆長田区支部 平井まち子事務所
〒653-0843 神戸市長田区御屋敷通6-1-11
電話&Fax. 078-643-0647(月~金 9時~17時)
eメール machiko.h@earth.ocn.ne.jp

神戸市総合コールセンター 神戸市の総合的な窓口です。ご利用下さい。
年中無休受付中(8:00~21:00) ☎078-333-3330

自由民主党神戸市議員団

http://www.jimin-kobe.com

発行 No.3005-M0
神戸市中央区加納町
6丁目5-1
電話078-331-8181 内線7060

自由民主党神戸市議員団 兵庫区支部
神戸市議員

守屋隆司

http://www.city.kobe.jp

神戸市中央区加納町6丁目5-1
電話078-331-8181

市政報告 (兵庫区版)

——市政報告会のご案内——

前略

皆様からの日頃よりのご指導ご支援に心よりお礼申し上げます。

平成30年度予算及び事業について、下記の日程で「市政報告会」を開催させていただきます。是非ご参加いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

感謝

神戸市議員 守屋隆司

自由民主党神戸市議員団

日時) 平成30年6月9日(土曜日) 午後2時～3時まで

会場) 兵庫公会堂 第二第三集会室

兵庫区役所地下1階です

議題)

- ① 平成30年度神戸市予算について
- ② 市会報告
- ③ その他

----- キリトリ -----

ご不明な点は ☎078-512-5722まで

ご芳名	〒	ご住所	TEL・携帯
ご代表			Tel 携帯
			Tel 携帯
			Tel 携帯

FAX : 078-512-5723



郵便往復はがき(返信)

料金受取人払郵便

神戸中央局
承認

3040

差出有効期間
平成30年7月
6日まで
(切手不要)

6508790

580

神戸市中央区

加納町6丁目5-1

自由民主党神戸市会議員団
(しらくに高太郎) 行



ご意見ご希望をお聞かせください。

.....
.....
.....
.....
.....

～第7回市政報告会のご案内～

謹啓 深緑の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より、皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

この一年間の活動報告と今後の市政や垂水区の課題などをお話させていただきたく、下記の通り、市政報告会を開催させていただきます。

万障お繰り合わせの上、ぜひご出席頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹 白

神戸市会議員 しらくに高太郎

記

と き：平成30年7月8日(日)
11時～13時(受付10時30分より)

ところ：「舞子ビラ」本館3階 舞子の間
住 所：垂水区東舞子町18-11
電 話：078-706-3711

会 費：¥3,000- 受付にてお支払下さい

内 容：一部：市政報告会(11時～)
二部：懇親会(12時～)

以 上

出欠のお返事は7月1日までをお願い致します。

郵便往復はがき(往信)

料金別納 郵便

--	--	--	--	--	--	--

・ご出席 ・ご欠席

いずれかに○印をつけてください。

おなまえ

おところ 〒

TEL

FAX.

※おところは変更された方のみご記入ください。

お知り合いの方でご参加いただける方が
おられましたら、ご記入ください。

おなまえ

TEL
FAX.

おところ 〒

おなまえ

TEL
FAX.

おところ 〒

発行

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
自由民主党神戸市議員団



神戸市会議員(長田区・自由民主党)

のぶひろ
かわべ 宣宏

かわべ事務所 〒653-0831 神戸市長田区蓮宮通3-1-8 TEL 642-3499 FAX 642-3488

長田区から元気・神戸市をつくる!!

平成30年第1回定例市会 一般質問 3月29日(木)

- ① 漁業振興について
- ② 温水プールの整備について
- ③ スマホ依存について
- ④ 花の観光について
- ⑤ 倫理・道徳教育の充実について
＜要望として＞



予算特別委員会での質問

危機管理室

- 1: 救援物資の円滑な輸送について
- 2: 未知なる危機事象への対応について
- 3: 津波避難対策について
- 4: 防犯環境設計の推進について
- 5: 犯罪被害者等への支援について

消防局

- 1: 特別高度救助隊について
- 2: 消防防災ヘリの活用について
- 3: 土砂災害対策について
- 4: 重機の導入について
- 5: 消防団車両導入について
- 6: 火災対応について
- 7: 火災発生後のフォローについて

現在の所属委員会

常任委員会

企業建設

建設局

水道局

交通局

一般質問

漁業振興について



長田港を拠点とした総合施設(道の駅やとれとれ市場)を整備してはどうか？

施設の整備については、駐車場も含めまとまった用地の確保が必要となるが、長田港内にはそのようなスペースが見当たらず、直ちに取り組むことは難しいのではないかと考えている。

また直売については、現在、長田港では卸売のみで一般販売は行っていないが、例えば、隣の垂水漁港では常設のスペースではないが、月2回、漁協の主催により漁業デーと銘打って、獲れたての鮮魚を直売している事例がある。地元漁業者の皆さまの意見、意向をよくお聞きしながら、市としてもそのようなイベントなど、意欲ある漁業者の新たな取り組みを支援していきたいと考えている。



温水プールの整備について



市内の高校の水泳部では冬場に温水プールを求めて、他区まで練習に行くこともあると聞いている。例えば、拠点となる高校のプールに温水機能を整備し、周辺校と共有するなどの工夫を検討できないのか。

屋内温水プールを整備することについては、国庫補助制度もなく、多額の経費を要するという課題がある。

また、平成29年度に開校した、いぶき明生支援学校には屋内の温水プールがあり、現在は体育の授業で夏季のみ使用している。コースの数が少ないことや、光熱費等の課題はあるが、冬季に高校の水泳部が使うことができないか、検討してまいりたい。

長田区の駒ヶ林中学校にはプールがなく、そこにはジュニアオリンピックに出場するような選手が2名もいると聞いている。ジュニアオリンピックに出場するような大切な人材を支援して頂きたい。

プール整備にあたっては、同校の西側隣接地において、現在、住宅都市局が再開発事業を進めているが、学校にとっても有益な土地であると考えており、土地利用について、今後も住宅都市局と協議を行っていきたい。



花の観光について



本市においてはフラワーロードやインフィオラータなど「花のまち神戸」に取り組んでいる。長田区の獅子ヶ池では、桜の植樹を進めていくと聞かすが、春の季節以外においても、花を活用して長田区の交流人口を増やしていくべきと考えるがどうか。

長田区の非常に豊かな自然を活かしていくために、地域の活性化に向けて、獅子ヶ池をはじめとした各地域での取り組みをどのように展開していくのか、今後も、地域とともに検討していきたい。



略歴

- 平成20年／神戸市立長田区PTA連合会会長
- 平成21年～現在／神戸市青少年育成協議会長田支部 支部長
- 平成24年1月／自民党優秀党員表彰
- 平成28年／「こうのとり賞」受賞
- 平成27年～現在／保護司

郵便はがき



のぶひろ

かわべ 宣宏

自由民主党 神戸市会議員

略歴

- 平成20年／神戸市立長田区PTA連合会会長
- 平成21年～現在／神戸市青少年育成協議会長田支部 支部長
- 平成24年1月／自民党優秀党員表彰
- 平成28年／「こうのとりのこころ」受賞 ●平成27年～現在／保護司

神戸市会議員(長田区・自由民主党)

のぶひろ
かわべ 宣宏

かわべ事務所 〒653-0831 神戸市長田区蓮宮通3-1-8 TEL 642-3499 FAX 642-3488

長田区から元気・神戸市をつくる!!

平成30年第1回定例会市会 一般質問 3月29日(木)

- 1 漁業振興について
- 2 温水プールの整備について
- 3 スマホ依存について
- 4 花の観光について
- 5 倫理・道徳教育の充実について
〈要望として〉



予算特別委員会での質問

危機管理室

- 1: 救援物資の円滑な輸送について
- 2: 未知なる危機事象への対応について
- 3: 津波避難対策について
- 4: 防犯環境設計の推進について
- 5: 犯罪被害者等への支援について

消防局

- 1: 特別高度救助隊について
- 2: 消防防災ヘリの活用について
- 3: 土砂災害対策について
- 4: 重機の導入について
- 5: 消防団車両導入について
- 6: 火災対応について
- 7: 火災発生後のフォローについて

現在の所属委員会

常任委員会

企業建設

建設局

水道局

交通局

神戸市会議員



岡田ゆうじ

市会議員団市政報告

真剣勝負！神戸再生宣言！

- 【岡田ゆうじプロフィール】 ●昭和 53 年 6 月 25 日生まれ（39 歳）
●慶應義塾大学法学部卒、慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了
●国会議員政策担当秘書資格試験に合格 ●参議院議員末松信介政策担当秘書
●平成 29 年 10 月神戸市会議員補欠選挙にて 27,279 票を得て初当選

2018.5

No. 7

いじめをなくせ

一昨年 10 月、垂水区内で中学 3 年生の女子生徒の方が自殺を図り、亡くられました。市教育委員会が設置した調査委員会は、いじめ防止対策推進法に定める「いじめ重大事態」として調査を行ない、報告書を作成しました。

しかし、遺族の方は調査が不十分で、いじめを生んだ生徒間の人間関係や学校の対応の問題点が明確になっていないため、調査のやり直しを求めました。

神戸市会でも、自民党の私はもちろんのこと、新社会党や共産党の議員まで、あらゆる会派の議員から追加調査・再調査の要望が出されましたが、市教委は一貫して拒否し続けて来ました。

しかし、調査の核となるべき、被害者の方の葬儀の直後に行なわれた同級生らの教員による聞き取りメモが、市教委によって隠ぺいされていたことが、先月下旬明らかになりました。市会からの猛烈な追及を受け、久元市長もついに再調査を行うことを言明し、市教委を事務局としない、新たな調査委員会が発足します。

今回の悲しい事件を、神戸市全体の教育行政の将来に資する教訓、糧に変えるためにも、建設的な調査が行なわれなければなりません。神戸のこどもの尊い命が失われたこの事件は、遺族の方だけの悲しみでなく、神戸市民全体にとっての悲しみでもあるはずです。市会文教子ども委員会の一員として、垂水区民として、しっかりとこの問題に取り組んで参ります。



垂水区中学生いじめ自死事件の原因調査に関するこれまでの経緯

2016年 10月

- ・垂水区の川で市立中学校3年の女子生徒が亡くなっているのが発見された。
- ・市教育委員会の附属機関「神戸市いじめ問題審議会」が調査を開始。

2017年 8月

- ・調査報告書がまとまり、いじめ行為が存在したことを認定。しかし、いじめが原因で自死に至ったとは結論付けず。
- ・学校側から、報告書において「破棄した」と記載された、同級生らの聞き取りメモが、実は破棄されておらず現存することが市教委に伝達されるものの、放置される。



【報告書の問題点】

- そもそも第三者性がない（市教委の附属機関が調査）
- 市教委の対応を賛辞する内容が多く
市教委や学校の対応の問題点を明確にしていない
- いじめを生んだ背景や経緯についての調査が乏しい
- 遺族が完全公開を望んでいるにもかかわらず、黒塗りが多い

2017年 9月

- ・遺族が調査委員会に対し、追加調査を申し入れ。

2017年 12月

- ・調査委員会が、遺族が求めている追加調査を行わない旨を公表。
- ・市会文教こども委員会で、自民党の安井俊彦議員が、これまでの市教委の対応について批判。

2018年 2月

- ・遺族が文部科学省に直訴し、追加調査を要請。
- ・市会文教こども委員会で、自民党の岡田ゆうじ議員より、再調査を求める発言。

2018年 3月

- ・遺族から調査が不十分であるとの所見が市教委に提出される。
- ・学校側から再度、同級生らの聞き取りメモが現存することが市教委に伝達。
- ・市会文教こども委員会で、自民党の岡田ゆうじ議員より、雪村教育長、大谷真一学校教育部長の責任を求める発言。
- ・雪村教育長が退任。

2018年 4月

- ・遺族が市長に調査継続の申し入れ。
- ・市教委が黒塗りの報告書を市会文教こども委員会の議員に開示。
- ・新教育長（長田淳）が、破棄したとされていたメモが存在することを公表。
- ・久元市長が再調査の実施を表明。



「垂水区で長生きして良かった」と思える街にしたい

神戸市議員 垂水区 岡田ゆうじ

〒655-0044 神戸市垂水区舞子坂 3-15-9-3F
TEL : 078-785-5171 / FAX : 078-785-5172

岡田ゆうじ
ホームページ
mail@okadayu.ji.net
www.okadayu.ji.net



神戸市会議員



岡田ゆうじ

市会議員団市政報告

真剣勝負！神戸再生宣言！

- 【岡田ゆうじプロフィール】 ●昭和 53 年 6 月 25 日生まれ (39 歳)
●慶應義塾大学法学部卒、慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了
●国会議員政策担当秘書資格試験に合格●参議院議員末松信介政策担当秘書
●平成 29 年 10 月神戸市会議員補欠選挙にて 27,279 票を得て初当選

2018.6 No. 8 子ども達に美味しい給食を

東灘区の市立本山南小学校の給食で 5 月 11 日、**異物混入が発見**されました。異物は約 5 ミリメートルのプラスチック片で、6 年生の児童が給食「けい肉のみぞれじる」を喫食中に発見しました。

2015 年 10 月、垂水区等市内 7 区の中学校 62 校で給食を提供していた事業者が、異物混入が相次ぐなど衛生管理に問題があり、**契約解除、給食の一斉停止**となったことは記憶に新しいと思います。市は、学校給食の食材調達等の事業を一括して行なう新組織「神戸市学校給食会」を今年 5 月 10 日に設立したばかりですが、**学校給食にかかる安全性を、更に向上させていく必要があります。**

2014 年 11 月から段階的に中学校給食が始まりましたが、小学校とは異なり、**おかずが冷たいデリバリー方式**の給食です。神戸市は喫食率の目標として 60%を掲げていましたが、2018 年 4 月現在約 40%にとどまっており、低いところでは 20%台の学校もあります。

学校給食法第 1 条には、「学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ、児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものである」との規定があり、**給食は法律的にも教育の一環だとされています。**皆で同じものを食べるということも、重要な情操教育の一環だと思います。

異物混入のリスクを避け、安全を第一に考えるなら、調理してから食べるまでの時間が一番短い自校調理方式、学校調理方式が最も理想的です。



中学校給食を試食

しかし当時の教育委員会は、調理等を行うための給食室等設置に時間とコストがかかりすぎるとの理由で、速やかに事業が開始できるデリバリー方式を採用しました。これは、出来る限り早く給食を実施するという観点からすれば、現実的な選択だったと思います。

しかし、**いつまでもずっとデリバリー方式で続けなければならない理由もありません。**生徒が少なくなってきて、空き教室等の余裕がある中学校から、すなわちできるところから徐々にでも、安心しておいしく食べられる学校調理方式か給食センター方式を、スタートさせていくべきではないかと思えます。

大阪市は2019年の2学期までに学校調理方式をスタートすることを決めています。神戸市と同じく冷たいおかずや主食の量の少なさが不評で、ついには喫食率が10%にまで低下し、**とうとうデリバリー方式廃止を決めました。**兵庫県下でもデリバリー方式を採用している自治体は少数派です。学校調理方式を導入するには建築費など初期費用がかかりますが、整備された後の維持費はデリバリーより安いとも試算されています。

お昼が近づくと給食室からいいにおいがきて、自然とつばが出て、「うん、きょうはカレーや」「きょうは煮物や」など、友達と浮き浮きしながら話した思い出が、多くの方にはあると思います。**給食は忘れることのできない幼少期の温かい思い出**であり、大人になってもずっと心と体の中に残ります。やはり昼御飯は温かくておいしい給食をどの子も食べられる、**笑顔いっぱいの給食時間であってほしい**と思えます。

垂水区内中学校の給食喫食率（2018年4月）

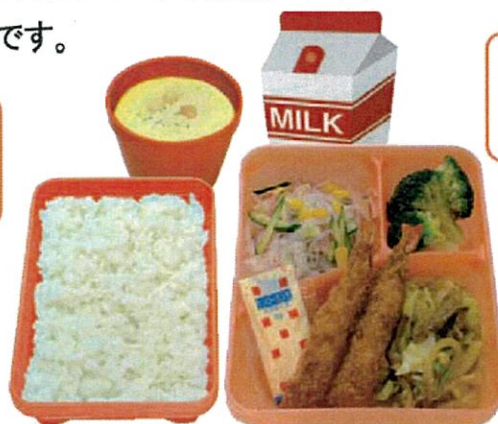
中学校名	給食喫食率
塩屋中学校	33.2%
垂水東中学校	60.9%
福田中学校	36.2%
垂水中学校	42.8%
歌敷山中学校	47.5%
多間東中学校	30.5%
舞子中学校	42.2%
神陵台中学校	46.3%
桃山台中学校	50.1%
本多間中学校	49.4%
星陵台中学校	29.3%

神戸市の中学校給食

- 内容は、主食（ごはん）・副食（おかず4品程度）・汁物（冬場など）・牛乳です。
- 主食（ごはん）は、市内産のお米を使用します。
- 給食費は1食300円です。

汁物(冬場など)
湿温蔵庫で保管し、
温かいまま、配膳します。

主食(ごはん)
湿温蔵庫で保管し、
温かいまま、配膳します。
市内産のお米を使用します。



牛乳(200ml)
良質なタンパク質・カルシウムを
とることができます。

副食(おかず4品程度)
適切な温度管理のもと、配膳します。
栄養のバランスや、旬の食材、行事食
等の季節感などを考慮し、献立を作成します。

※ 神戸市教育委員会資料より



「垂水区で長生きして良かった」と思える街にしたい

神戸市議員 垂水区 岡田ゆうじ 事務所 TEL: 078-785-5171 / FAX: 078-785-5172

岡田ゆうじ
ホームページ
mail@okadayuji.net
www.okadayuji.net



神戸市会議員



岡田ゆうじ

市会議員団市政報告

真剣勝負！神戸再生宣言！

- 【岡田ゆうじプロフィール】 ●昭和 53 年 6 月 25 日生まれ
●慶應義塾大学法学部卒、慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了
●国会議員政策担当秘書資格試験に合格 ●参議院議員末松信介政策担当秘書
●平成 29 年 10 月神戸市会議員補欠選挙にて 27,279 票を得て初当選

2018.7

No. 9 助けを必要とする方へ

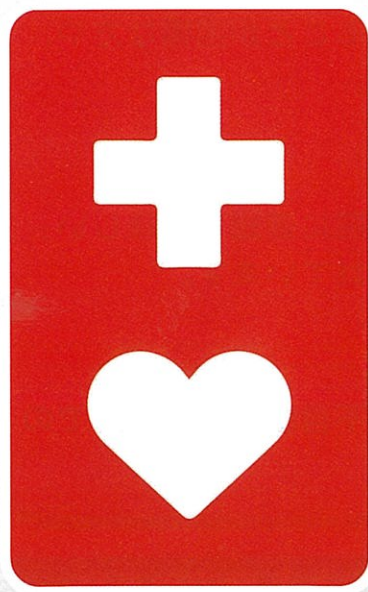
私たちが共に暮らす街中や公共交通機関などで、周囲からの手助けを必要としている方々があります。しかし、義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、**援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方々**もおられます。

そこで、彼らが援助・配慮を必要としていることを、周囲の人間に知らせる必要があります。そのために考案されたのが、「ヘルプマーク」です。

「ヘルプマーク」について知っていただくことは、配慮を必要とする方が、どのような支援を必要としているのかを知るとともに、彼らの状況を理解するためのきっかけにもなります。配慮を必要とする方も支援者の方も安心して暮らすことのできる、**助け合い社会の実現**こそ重要です。

また同じ趣旨で、緊急連絡先や必要な支援内容などが記載された「ヘルプカード」もあります。これは、障害のある方などが災害時や日常生活の中で困ったときに、周囲に自己の障害への理解や支援を求めるためのものです。

元々は東京都が最初に導入したのですが、神戸市においても、ここ垂水区では垂水区地域自立支援協議会さんなどの熱心な取り組みにより、市内で先駆けて先行配布がな



ヘルプマーク

されていました。

いよいよ全市的に導入が開始されたのは本年3月12日。4月末時点で、ヘルプマークは約2000個、ヘルプカードは約3000枚が配布されています。

現在でも、垂水区役所健康福祉課、たるみ障害者地域生活支援センターの窓口で、希望する方に配布を行っています。



ヘルプカード

このヘルプマーク、ヘルプカードが有効に機能するためには、このマークが何なのか、何を意味しているのかを多くの皆さんに理解していただく必要があります。

6月10日、神戸市難病団体連絡協議会の会議に自民党を代表して出席させていただいた際も、このヘルプマークの周知徹底、及び積極配布についてご要望を頂戴しました。神戸市ではヘルプマークを見たら、皆が自然と支援の手を差し伸べる、そんな将来を実現すべく、微力を尽くして参ります。



神戸市難病団体連絡協議会に参加

ヘルプマークを身につけている人を見かけたら

公共交通機関では、席をお譲りください

外見では健康に見えても、疲れやすかったり、つり革につかまり続けるなどの同じ姿勢を保つことが困難な方がいます。また、外見からは分からないため、優先席に座っていると不審な目で見られ、ストレスを受けることがあります。

駅や商業施設等で、声をかけるなどの配慮をお願いします

交通機関の事故等、突発的な出来事に対して臨機応変に対応することが困難な方や、立ち上がる、歩く、階段の昇降などの動作が困難な方がいます。

マーク等に記載された内容に従って配慮・支援をお願いします

マーク等には「ゆっくり話してほしい」、「体調の急変時には病院に連絡してほしい」など、マーク等を見た方に希望する配慮・援助の内容が記載されています。

災害時は、安全に避難するための支援をお願いします

視覚障害者や聴覚障害者等で周辺の状況把握が難しい方、肢体不自由者等で自力での迅速な避難が困難な方がいます。



「垂水区で長生きして良かった」と思える街にしたい

神戸市議員 垂水区 岡田ゆうじ

〒655-0044 神戸市垂水区舞子坂 3-15-9-3F
TEL: 078-785-5171 / FAX: 078-785-5172

岡田ゆうじ
ホームページ
mail@okadayu.ji.net
www.okadayu.ji.net



暮らしの安心・安全のために 市政は「常に備えよ！」

6月18日午前7時58分、東灘区は震度4の地震に見舞われました。突き上げるような地震に「また来るのか…」と、阪神淡路大震災を思い出し身構えた方も少なくないと思います。私は家族と自宅に居りましたが、思わず子どものところへ駆け寄りました。幸い揺れはすぐに収まり安堵しましたが、テレビをつけると「大阪府北部、震度6弱」の表示。友人の安否を気にしながら急いで市役所へ向かいました。

大阪府北部地震でよみがえる「震災」の記憶



6月18日、給水支援隊の出発式がおこなわれました。企業建設委員会委員長として出席、夜通しの給水支援活動に赴く皆さんを激励させて頂きました。派遣要員は15名、3トン給水車2台と指揮車1台の構成でした。



自家用車で避難しようとした人々にも、きつと已むに已まれぬ事情があったと思います。病気や障がいのある家族を抱えている人もおられたと思います。それでも地震災害では周辺の状況が確認できるまで、自家用車による避難は極力慎まなければならないと、命の水が届かないという事態に直結してし

今般の大阪府北部地震においても、やはり尋常ではない交通渋滞が発生しました。幸い自衛隊や周辺自治体の初動が早かったこともあり、阪神淡路大震災の際と比べれば給水支援は円滑に進められたと思います。しかし、最低三日間は必要な飲料水と食料を、常に持つておかねばならないという事に変わりはありません。
(次頁へ続く)

今年の一月二十八日に開催された住吉川放水大会にて、東灘区選出議員団の当番幹事として、皆様にご挨拶をさせて頂きました。「防災」について一番に頭に浮かぶのは阪神淡路大震災です。挨拶では私の体験に基づき「防災」についてお話しさせて頂きました。内容は概ね次のようなものでした。

大学の東灘区と須磨区の救活活動を比べると、陸上自衛隊による給水支援に相当な時間差がありました。須磨区の方が数日は遅かったと思います。私の実家付近では北須磨小学校が最初でした。早速ポリタンクを抱えて同校へ行った折、救援にあたる自衛官の方に「どうしてこんなに遅くなったのですか？」と尋ねました。すると「倒壊家屋などによって寸断された道を迂回しながら、通れそうな道を探して進んだが放置車両

が多く、それらを手で移動させるなどして大型車両を通さなければならず、時間がかかってしまいました。」と言っておられました。放置車両というのは、地震が収まった後すぐに自家用車で避難しようとしたものの、予想以上に被害が大きくて、進むことも引き返すことも出来なくなつた車両が乗り捨てられていたものです。

これらのことは、経験した私たちでなければ伝えられないと思えます。肌で感じた事ありのままに伝えることで、震災後に生まれた人々にも、緊迫感をもって伝えることができます。そしてそれが生かされた私たちの使命だと思います。

東灘区 市政報告

長瀬たけし

〈たけしレポート改題〉

第9号 平成30年7月10日発行
自由民主党神戸市議員団
〒650-0001 神戸市中央区加納町6-5-1
神戸市役所1号棟28階
TEL(078)322-5846 FAX(078)322-6164

震災当日甲南大学四回生だった私は、どこまで被害が及んでいるのか分からなかったため、実家の須磨から徒歩で大学に向け出発しました。どこをどう歩いたのか覚えていませんが、午後には到着して学内に避難されていた方々のお世話をさせて頂きました。

長瀬たけし 市政報告・懇親会

平成三十年 十一月九日(金)

午後六時三〇分 開会
(受付開始 五時三〇分)

〔会場〕 ANAクラウンプラザホテル(新神戸)
一〇階 ザ・ボールルーム

〔会費〕 八、〇〇〇円

着席制でございます。
ご参加して頂ける方は事務所までご一報下さいませ。

「絆」はつづく

阪神淡路大震災を経験した神戸市は、全国で発生する大規模災害に初動救援、民生支援、復興支援など、迅速で広範囲かつ中長期にわたる支援活動が行えるように備えています。東日本大震災については宮城県名取市などに現在も職員を派遣中です。また、大阪府北部地震については、発災当日の午後には給水支援隊を組織して、日本水道協会からの要請に基づき箕面市にて給水支援を実施しました。なお、これ以外にも避難所運営支援を茨木市(二名)と高槻市(二名)に、被災建築物応急危険度判定士(三名)を茨木市に、そして緊急消防援助隊(航空小隊)を派遣しました。

身近な危険を見逃さない！

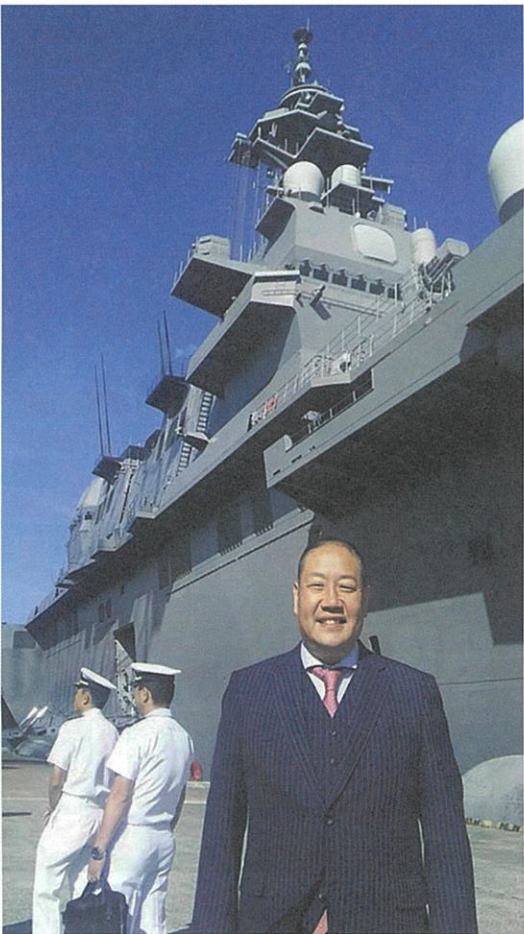
市民相談室からのご報告

平成十九年の初選挙以来、市民相談室を開設させて頂いております。様々なご相談を承りますが、暮らしの安心・安全に関わるものも少なくありません。みなさまから頂くご相談は、いわばリレーのバトンです。受け取った私が上手に役所へとつなげて、速やかな善処というゴールを目指すのです。

新学期を迎えた小学生の通学路側溝に穴が！

ご覧いただいている写真Aは、西岡本六丁目の歩道上に空いた穴が経年劣化等もあって破損している

5月21日 大阪南港に入港していた護衛艦「かが」 出港の見送りに参加



全通甲板を備えた大型艦です。災害派遣にも役立つ多用途艦として期待されている最新鋭護衛艦。日ごろから自衛隊と親しみ機材を見ておくことは、有事に備える意味でも大事なことです。



6月25日(月)一般質問にて、家族支援政策の在り方等について質疑しました。詳しくはホームページ等に議事録を掲載します。また、今期最終年度となる平成30年度は、総務財政委員会に所属が決まりました。



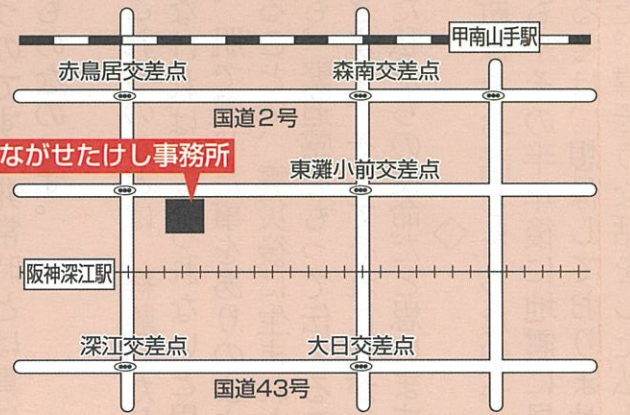
鳴尾御影線、高橋川にかかる橋の歩道がガタガタ！

写真Bは、深江北町四丁目の鳴尾御影線の薬王寺橋という長さ十メートルほどの橋です。上下線ともこの橋を除く東西は、歩道が新しく整備されて凸凹も解消されたのですが、橋の部分だけ手つかずの状態でした。高齢者も多く、近くには整形外科もあり車椅子や歩行困難な方も多いので、一刻も早く直して欲しいというご相談でした。



この様な、身近な危険は気にせず通り過ぎてしまっている場合も多いのですが、子どもや高齢者など、弱者の視点に立てば違って見えます。私自身が全ての危険に気づくのは不可能なので、ご相談はともありません。

市民相談室は平日の午前10時～午後三時三十分まで受け付けております。時間外のご相談は、お電話かメールにてご一報頂ければ対応させていただきます。



〒658-0013 神戸市東灘区深江北町3丁目4-16
TEL(078)435-6380 FAX(078)435-6381

長瀬たけしプロフィール

昭和43年6月18日 神戸生まれ
甲南中・高を経て 甲南大学法学部卒業
平成7年 建設機械レンタル会社にてサラリーマン生活12年
平成23年9月 医療介護コンサルタント会社を設立
平成25年10月 神戸市議員東灘区補欠選挙に当選
平成27年4月 神戸市議員選挙に当選(2期目)
平成29年6月 企業建設常任委員会委員長 自民党兵庫1区青年局長



朝イチ3分間スピーチ(動画) 毎朝更新中です！

山口由美

情熱市政

NEWS



プロフィール

発行:自由民主党神戸市議員団
神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL.078-322-5846

- 1980 岐阜県岐阜市に生まれる
- 1994 事故により車椅子生活となる
以後、講演活動・車椅子陸上を始める
- 2001 トレーニング環境を求めて神戸市に単身転居
- 2002 愛知学院大学文学部心理学科卒業
車椅子陸上において日本代表入りを果たす
フェスピック・ブサン大会にて金メダル獲得
- 2004 パラリンピック・アテネ大会出場

- 2006 ワールドカップ(英)にて銀メダル獲得
現役引退
- 2007 神戸市議員選挙にて初当選
- 2011 神戸市議員 2期目当選
- 2015 神戸市議員 3期目当選
- 2016 福祉環境委員長、政調会長を拝命(1年間)
- 2017 未来都市創造に関する特別委員会 委員長を拝命



7月豪雨への対応等ご報告いたします。



市長への要望書を提出。
市内の状況や市への要望について
副市長と懇談。



被災地への支援隊の出発式に参加。



支援隊の見送り。

詳しくは中面をご覧ください

ご挨拶

お世話になっております。山口由美です。

この度の西日本豪雨において被災された皆様には、心からお見舞いを申し上げます。神戸市内でも、人的被害は軽症1名にとどまったものの、現在においても、一部地域で避難所生活を余儀なくされている方もいらっしゃいます。また、土砂崩れなどによる影響や、経験したことのない大雨に不安を抱かれていた方も多かったかと思います。大雨の前の地震においても、市内各地で交通機関が麻痺するなど、影響が大きかったところで。

災害に対する備えの大切さを改めて痛感するとともに、私たちの立場でできることをしっかりと考えていきます。今後ともご指導のほど、よろしくお願いいたします。



ご意見・ご感想は…

TEL 078-322-5846

FAX 078-322-6164

E-mail.yamaguchi@yumiguma.com

HPもご覧ください

<http://www.yumiguma.com/>



七転び八起き日記 ブログ更新中!

情熱市政 TOPICS ① 7月豪雨に関する動き

① 市長に対する要望書の提出



▲安達団長より玉田副市長に要望書を手渡しました。

市長への要望(抜粋)

- 土砂災害の被害者への生活再建支援
- 市道夢野白川線等の早期復旧
- 神戸市周辺自治体との道路の通行止め等の情報共有 など

特に市民生活に大きな影響を及ぼしている点で、緊急性を伴うものについて、会派として要望書をまとめて、市長に提出しました。引き続き、今後の状況も把握しながら、中長期的な課題については、9月議会の中でもしっかりと取り上げていきます。



山口

② 被災地への支援



岡山県

- 水道局応急給水隊
- 保健衛生隊
- ごみ収集・運搬支援
- 家屋被害認定調査
- 応援本部設置
- 土嚢袋の送付

- 避難所運営支援
- 応急仮設住宅の建設支援



高知県

緊急消防援助隊派遣

広島県

緊急消防援助隊派遣



山口

大阪府北部地震発生時に引き続き、甚大な被害を受けた被災地へ、応援職員の派遣等の支援を行っていただきました。改めて被害の大きさを痛感するとともに、派遣職員の方々の活動に敬意を表します。

西区総合防災訓練

◆11月24日(土) 木見中央公園(押部谷)

※ 詳細は広報KOBEなどで確認ください。

この度の地震・豪雨の災害によって、日頃からの備えの大切さを改めて感じました。区民対象の防災訓練も実施される予定ですので、ぜひ参加して、いざという時に備えたいと思います。皆様もぜひご参加ください!



山口

情熱市政 TOPICS 2 今年度の動き

① 会派内に“三宮再整備推進プロジェクトチーム”を発足!



神戸市の重要課題であり、神戸経済に大きな影響を与える三宮再整備に関して、会派内にプロジェクトチームを作りました。現状の動きを把握し、輝かしい未来都市神戸を目指して、神戸市に積極的に提言していきます。



山口

② 会派内“神戸水素社会推進プロジェクトチーム”積極的に活動!



Key Word 水素社会ってなに?

水素は様々な資源からつくることができ、エネルギーとして利用する際にはCO₂を出しません。よって環境にやさしくエネルギー安全保障に役立つ究極のエネルギー源と言われており、将来の代替エネルギーとして今、国内外で注目を集めています。



▲岩谷産業株式会社中央研究所視察

その他の活動

- 国会議員との意見交換
- 国際水素・燃料電池パートナーシップ(IPHE)シンポジウム参加 等

昨年度発足したプロジェクトチームの活動を、今年はさらに積極的に行っていきます。神戸市内での水素発電の実証実験も、順調に進んでいるとお聞きしています。実用化に向けて様々な課題はありますが、環境貢献都市として、全国に先駆けて水素社会を実現するために、神戸市の取り組みを応援していきます。



山口

③ 神戸市こどもの創造的学びに関する研究会始動!

神戸市は今年度、次世代を担う創造的人材の育成に、分野・領域の枠を超えて長期的な視点で取り組んでいくため、多様な関係者による研究会を設置しました。



いよいよ7月に研究会が発足しました。民間先進事業者、有識者、教育機関、保護者など多種多様な委員によって構成され、第1回の研究会ではとても興味深いお話をお聞きすることができました。今後の動きにも注目していきます。



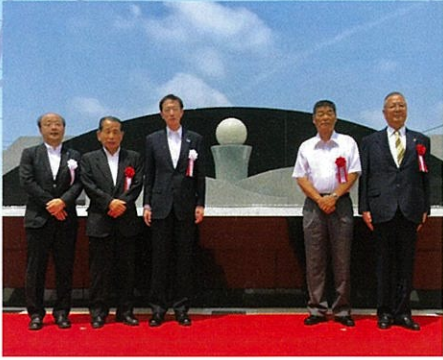
山口

情熱市政 TOPICS 3

鶴越合葬墓の完成

市民の皆さまにご利用いただける合葬墓が北区の鶴越墓園内に完成しました。今のお墓の維持に不安のある方や墓じまいをお考えの方は選択肢のひとつに加えてみてはいかがでしょうか。

鶴越合葬墓



申込期間

平成30年7月19日(木)～8月10日(金)

合葬式墓地使用料

- 1 合葬施設へ直接埋蔵
一体あたり 50,000円
- 2 個別安置施設に10年間収蔵した後、合葬施設へ埋蔵
一体あたり 100,000円

詳しくは下記までお問い合わせください
☎078-621-5667

先日、鶴越合葬墓が完成しました。現在、申し込みを受け付けています。ご関心のある方はお問い合わせください。



山口

情熱市政 TOPICS 4

市民の皆様からのご意見・ご要望

① 新西図書館について



女性

西図書館が移転すると聞きましたが、今はどういう状況にありますか？せっかく新しくなるのであれば、他都市の事例も参考にして、いい図書館にしてほしいです。

現在、西神中央駅西側にある美賀多台の土地に、文化芸術ホールと新西図書館の整備が検討されています。民間活力を活用して、マンション機能を含む建物が整備される予定です。新西図書館については、7月から整備に向けた検討会が開催され、他都市の図書館の事例も報告されています。今後、この検討会で整備の基本計画をとりまとめるようです。私も状況を把握しながら、区民の皆様にとって、よりよい図書館になるよう、働きかけていきます。



山口

② コミュニティバスについて



女性

西区内でコミュニティバスを走らせるための準備をしている地域があると聞きました。私が住む地域でもあったらいいなあと思っているので、今検討中の地域のことを教えてほしいです。

現在、西区内では2ヶ所、コミュニティバスを走らせるための準備をしています。先日、「栄駅周辺住民の足を考える会」の設立総会が開かれ、私も出席させていただきましたが、周辺住民の方のご努力により、正式に発足されました。神戸市における支援や他都市の状況などを勉強しながら、今後の進展を見守っていききたいと思います。



山口

③ 農業振興について



男性

農業の担い手不足を改善するために、神戸市立の高校に農業科を作ってはいかがでしょうか。また、神戸市では食品ロスの取り組みを進めているようですが、農作物ロスを加工食品化する仕組みができないかと考えています。



貴重なご意見ありがとうございました。議会の場で提案できるように、勉強していきます。



山口

④ 副籍について



女性

子供がなかよし学級(特別支援学級)に在籍しており、学校では身体の状態に合わせた支援をいただいておりますが、身体的な訓練がもっと必要だと感じています。副籍により、特別支援学校にも定期的に通うなど、専門的な支援が十分に受けられるような方法はありませんか？



神戸市では副籍という制度はありませんが、保護者の方がお子さんの訓練など専門的な支援について、とても悩んでいらっしゃる、それが就学・進学に悩みに直結していると感じます。教育であれ、療育であれ、子供たちの発達のために、神戸市として最大限できることをしっかり考えていきます。



山口